

## 小学生の部 特選

### 一茶まつり大賞

東京都 葛飾区立水元小学校 三年 れぶんさん

## 花火の夜そばから聞いた大空しゅう

花火見物のあと、お祖母さんが空襲の夜の話をしてくれました。花火の音に戦争の恐ろしさを思い出したのでしょうか。平和の大切さに耳を傾けている作者の顔が見えてきます。

### 東京都知事賞

宮城県 仙台市立南小泉小学校 四年 舜海さん

## 夏まつりゆかたはりつく迷子のぼく

たくさんの人波に吞まれて家族と離ればなれになってしまったのです。汗で体に張り付くゆかたに、迷子になってしまった時の不安やあせりが生き生きと伝わってきます。

### 東京都議会議長賞

栃木県 佐野市立栃本小学校 一年 海斗さん

## すいちゅうでみあげたたいようすずしそう

プールの中で目を開けた瞬間、太陽のまぶしい光が飛び込んできました。でも、それはゆれゆら揺れる涼しい光の塊。本物の太陽とは別世界のもの。これも水中の楽しさです。

## 足立区長賞

愛媛県 八幡浜市立喜須来小学校 四年 絢華さん

### 弟は生まれて百日小鳥来る

生まれてから三ヶ月を過ぎたばかりの弟。まだはっきり目が見えず耳もよく聞こえません。でも小鳥の声は届いているかもしれません。はやく大きくなって欲しいとの願いが「百日」という言葉にこめられています。

## 足立区教育委員会賞

東京都 トキワ松学園小学校 五年 修佑さん

### 南風と待つ連絡船

沖縄から帰ってくる時でしょう。港に連絡船が着くのを待っています。豊かな南風と三線の音が、作者の名残惜しい気持ちをたっぷりたたえています。

青森県 平内町立小湊小学校 六年 唯衣伽さん

### 部活動新メンバーはせんぷうき

真夏の部活動は暑くてたいへん。まして体育館の中は蒸し風呂状態。そこに大型扇風機が今年は備えられました。「新メンバー」という言葉に歓迎の気持ちが満ちています。部室での一場面とも鑑賞できます。

秋田県 八峰町立峰浜小学校 三年 絢音さん

## あみを手に仁王のようにトンボまつ

オニヤンマを捕ろうと網を構えて待っているのです。オスのオニヤンマは縄張りがあつて、いつも同じコースを飛んできます。仁王のように目をしっかり見開いている様子がユーモラスに描かれています。

埼玉県 加須市立高柳小学校 一年 凜歌さん

## しゃぼんだまてにくっついてふるえてる

できたてのふくらんだしゃぼん玉。飛ぶ前に手にくっついてしまいました。まるで巣立ちのできないツバメのひなのようです。しゃぼん玉に寄せるやさしい気持ちがあふれています。

埼玉県 草加市立高砂小学校 四年 亮吾さん

## スイカ割り割れば割るほど砂だらけ

砂浜での楽しい西瓜割り。なかなか割れない。それも残念ですが、何度も命中して割れすぎるのも問題。砂だらけになって食べられなくなってしまいます。心配が手に取るようです。

千葉県 千葉市立登戸小学校 四年 玲子さん

## 金色の稲ほの中のかやねずみ

カヤネズミは草原や田などに住む小型のネズミです。稲穂で巣を作ることもあります。ただし、稲を食べることはありません。金色に実った稲穂の中で眠っているかわいらしい姿が想像できます。

千葉県 千葉市立院内小学校 三年 裕音さん

## ウミホタルなみうちぎわが天の川

ウミホタルは夜、海辺で発光するちいさな虫です。夏になると、関東以南の海では、たくさんウミホタルを観察できます。房総でも観察会が開かれます。波打ち際に光っている様子を天の川に見立てたのです。

東京都 足立区立千住双葉小学校 六年 優花さん

## 頭から鮎をがぶりと白寿前

鮎の塩焼き。頭も骨もみんな食べられます。ひいお祖父さんでしょうか。白寿は九十九歳のこと。「がぶり」という表現からひいお祖父さんの元気な様子が目に見えるようです。

東京都 足立区立西保木間小学校 三年 玲奈さん

## 炎天下五秒すずしきしばすべり

板やプラスチックのソリで草の斜面を滑る芝すべり。暑い太陽にも負けず、みんなで競争したのです。滑っている間は涼しい風は吹き抜ける。でも止まるとまた、元の暑さ。その楽しい瞬間が「五秒」に刻まれています。

静岡県 常葉大学教育学部附属橋小学校 二年 莉沙さん

## はじめてのせおよぎで見た青い空

やっと泳げた背泳ぎ。息継ぎと同時に目を開けた瞬間に飛び込んできた青空はいつもの青空とはまったく違った美しい世界だったのですね。まぶしいばかりの光が溢れています。

岡山県 新見市立新見南小学校 六年 大空さん

## 競泳を終えて水母となってゆく

クロールでもバタフライでもいいでしょう。全力を出し切って泳いだあと、仰向けになって体を休めるように浮いている姿を水母に喩えました。全力で闘ったあとの満足感と虚脱感が一面に広がっていきます。

## 小学生の部 特選

### 一茶まつり大賞

東京都 足立区立谷中中学校 一年 柊吾さん

## 地にはあな木にはぬけがらせみのこえ

残されたわずかな生の時間を必死に鳴いている蟬。その近くにまだ蟬の殻、そして、地面には抜け出てきた蟬の穴が残っています。蟬の命のあり方がその三つに象徴されています。

## 東京都知事賞

東京都 世田谷区立梅丘中学校 三年 勇輝さん

### 初夏の風天衣無縫の君が好き

天衣無縫なのは「初夏の風」とも、作者のそばにいる友人ともとれます。両方とも、そうであると受け止めるのが自然でしょう。何事にもとらわれないおおらかな風と友人。友情の風が実にさわやかです。

## 東京都議会議長賞

大阪府 和泉市立北池田中学校 一年 結奏さん

### 被災地の麦茶のコップ泥手形

今年も全国各地で地震が起こりました。大阪でも大阪府北部地震があり、大きな被害が生じました。西日本豪雨もありました。差し出された麦茶のコップに付いていた手の跡。被害者、救援者、共に懸命に生きる姿です。

## 足立区長賞

東京都 立教池袋中学校 三年 隆樹さん

### 黒板のあをあをとして終戦日

八月十五日。終戦日のニュースを耳にしながら、教室の黒板を思い出したのでしょうか。先生が戦争のことを話してくれたのかもしれませんが。深い緑色の黒板が海に見えてきました。「あをあをと」の表現がさまざまに語りかけてきます。の跡。被害者、救援者、共に懸命に生きる姿です。

## 足立区教育委員会賞

福島県 会津若松市立第六中学校 二年 洸さん

### 平成の最後も同じ夏休み

平成の最後の夏休み。何か、最後にふさわしいことを行おうと思っていたのでしょうか。しかし、終わってみると宿題と部活動に追われた、いつもと同じ夏休み。でも、作者自身はいつもの年以上に成長していたはずです。

群馬県 邑楽町立邑楽中学校 三年 康生さん

### 夏休み頼るべからずドラえもん

ドラえもんには、たくさんのひみつ道具があります。どこでもドアに四次元ポケット。しかし、夏休みの宿題を頼ってはいけません。ユーモアがあふれています。

千葉県 成田市立公津の杜中学校 一年 志歩さん

## 廃校の大樹に集うカブトムシ

統廃合で廃校になった学校に残る大きな木。誰もいなくなった、その木にたくさんのカブトムシが集まるようになりました。まるで、かつてそこで学んでいた生徒たちのようです。

千葉県 八千代市立大和田中学校 二年 隆太さん

## 終戦日竿の先ゆくイージス艦

この竿は釣り竿です。イージス艦は自衛隊に何艘か配備されていますが、遠くから見分けにくいでしょう。たまたま沖行く船をそうかもしれないと思ったのです。それも終戦日だから。平和の願いがこもります。

東京都 世田谷区立梅丘中学校 三年 姫芽さん

## レモンティ少しにごりて受験生

ストローでかき回したら、レモンの汁か皮のせいで少し濁ったように見えたのです。さりげない一場面ですが、受験生の複雑に屈折した微妙な心の陰翳がよく表現されています。

東京都 品川市立富士見中学校 三年 ころろさん

## 氷菓子三年坂で溶けはじめ

三年坂は清水寺への参道。修学旅行でしょうか。手にもっていたアイスキャンデーが溶け始めました。歩きながら慌てて食べている様子が生き生きと見えてきます。



東京都 世田谷区立砧中学校 三年 花奈さん

## 人の波流れる先に鹿の鼻

夏休みの子供達。浮き袋をそれぞれ担いで電車の通過を待っています。海水浴場は目の前。早く泳ぎたいとの子どもの気持ちが手に取るようです。

東京都 立教池袋中学校 三年 大毅さん

## 踏切に立って待つ子の浮き袋

夏休みの子供達。浮き袋をそれぞれ担いで電車の通過を待っています。海水浴場は目の前。早く泳ぎたいとの子どもの気持ちが手に取るようです。

東京都 北区立王子桜中学校 三年 紅葉さん

## 朝顔や十五の初の徹夜明け

大事な試験があるのでしょうか。高校の受験校を決めるための試験かもしれません。夜明けの庭で、すでに花開いている朝顔がねぎらうように首を傾け声をかけてくれました。

東京都 足立区立東綾瀬中学校 三年 菜々さん

## 空蟬のちぎれた足の琥珀色

集めていた空蟬がつぶれてしまったのでしょうか。足だけが残っています。あらためて半透明の琥珀色の美しさに気づきました。蟬の命を守っていた殻の色です。